

Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

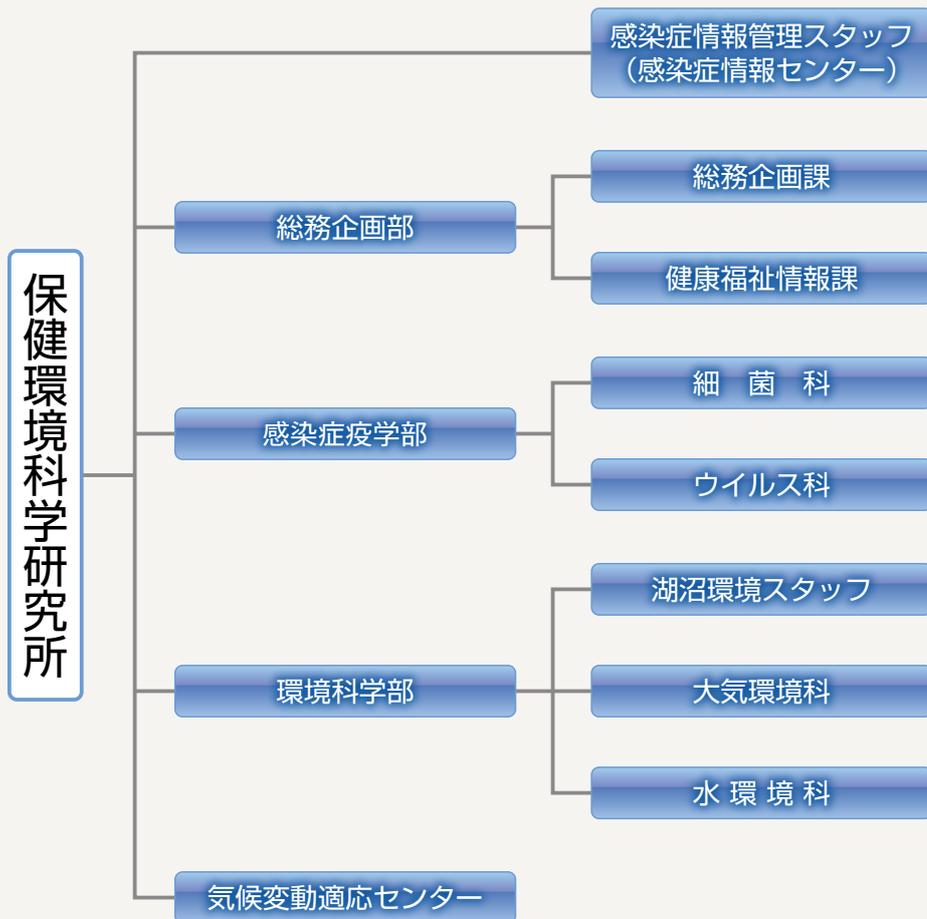
島根県保健環境科学研究所



概要

島根県保健環境科学研究所は、島根県の保健・環境行政における科学的・技術的中核機関として、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、試験検査、調査研究、研修指導および公衆衛生情報の収集・解析・提供などの業務を行っています。

組織



沿革

- 昭和 25 年 7 月 島根県立衛生研究所を県庁に設置
- 昭和 34 年 6 月 松江市北堀町の単独庁舎へ移転
- 昭和 43 年 9 月 松江市大輪町の松江衛生合同庁舎へ移転
- 昭和 47 年 8 月 島根県立衛生公害研究所に改称
- 昭和 51 年 9 月 松江市西浜佐陀町の新庁舎へ移転
- 平成 12 年 4 月 島根県立保健環境科学研究所に改称
- 平成 21 年 4 月 島根県保健環境科学研究所に改称
- 平成 24 年 4 月 原子力環境センターを原子力安全対策課へ移管
- 令和 3 年 4 月 気候変動適応センターを設置

当所の業務について

感染症情報管理スタッフ (感染症情報センター)	感染症の発生状況を把握・分析し、情報提供を行う感染症情報センターの運営を行っています。
総務企画課	予算管理、庁舎管理など研究所の管理運営を行っています。
健康福祉情報課	健康寿命の延伸にむけた調査研究や公衆衛生情報の収集・分析を行い、関係機関へ提供しています。 また、県や市町村の保健専門職を対象とした研修を企画・運営しています。
細菌科	公衆衛生上、必要な細菌検査や調査研究を実施しています。具体的には感染症の流行状況を把握する検査、感染症や食中毒の原因究明のための検査、食品の収去検査（流通している食品の検査）、河川・湖などが環境基準に合致しているかどうかの細菌検査などを行っています。
ウイルス科	県内で流行している感染症の原因ウイルスを把握するために、インフルエンザウイルスや SARS-CoV-2 などの検査を行い、その結果と患者情報を合わせて分析し評価を加えて感染症情報センターから情報発信しています。また、食中毒事例の原因ウイルス検査、ダニ媒介感染症の検査や感染症流行予測調査なども行っています。
湖沼環境スタッフ	湖沼環境に係る調査研究についての総合調整を行っています。
大気環境科	県内の大気汚染状況を把握するため、テレメータシステムによる常時監視、有害大気汚染物質や化学物質等の環境汚染実態調査、航空機騒音調査などの業務を行っています。また、光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）や浮遊粒子状物質（SPM）などについての調査研究、および酸性雨の影響や実態把握のための調査研究を行っています。
水環境科	県内の湖沼等の水質改善施策に貢献するため、専門的な水質分析業務を行っています。河川・湖沼・地下水および事業場排水などの水質監視調査や宍道湖や中海の汚濁機構の解明等の調査研究を行っています。
気候変動適応センター	気候変動の影響や適応策に係る情報の収集・提供などを行っています。

健康福祉
情報課



情報収集・分析を行う職員

細菌科



細菌検査を行う職員

ウイルス科



ウイルス検査を行う職員

大気
環境科



大気環境監視テレメータシステムによる
大気汚染状況の常時監視

水環境科



栄養塩の分析を行う職員



島根県保健環境科学研究所

松江市西浜佐陀町582-1 (〒690-0122)

TEL (0852)36-8181 FAX (0852)36-8171

E-Mail hokanken@pref.shimane.lg.jp

URL <https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/chosa/hokanken/>



(アクセス)

JR松江駅からタクシーで約15分

JR松江駅から松江市営バスの「授産センター行き」または「運転免許センター行き」で、平松バス停下車徒歩4分

一畑電車松江しんじ湖温泉駅から「電鉄出雲市行き」で、松江イングリッシュガーデン前駅下車徒歩15分